

# 公 共

## 第1問 次の文章を読み、以下の問に答えよ。

ある行為の何をもって正しいとするかは難しい。例えば「高齢者に席を譲る」という行為に対して、「その高齢者が喜ぶからその行為をする」という考え方と、「高齢者が喜ぶかどうかは関係なく、困っている人は助けるべきだ」という考え方があるだろう。前者のように、「行為が目指す目的によって行為の正しさを判断する」考え方を  論という。  論を唱えた代表的な人物は  である。  は、時代や国にとらわれず誰もが従うべき道徳的法則に従って行為することが正しいとした。

一方、目的論の中で、行為の結果である全体の幸福量が最大になることを目指すという考え方を  主義という。  主義は、  によって確立された。幸福の量を重視した  に対して、  は幸福の質を重視した。また、  は、たとえ愚かに見える行為であっても、a 他人に害を及ぼさない限り、その行為は認められるべきだと主張した。

主義の考え方には、全体の幸福量を増大するために、少数を犠牲にしかねない懸念がある。  は平等であることは大切だとしつつも、b 最も不遇な人々の状況を改善する場合についてのみ、ある程度の不平等は許容されると主張した。 c アファーマティブ・アクションの背景には  の考え方がある。  の平等だけではなく、  の平等を追求したといえる。

問1 文中の空欄     にあて  
はまる言葉をそれぞれ漢字2文字で答えよ。

問2 文中の空欄     にあて  
はまる人物名を、以下のア～エから1つずつ選び、その記号を答えよ。

ア. ベンサム    イ. ロールズ    ウ. カント    エ. ミル

問3 下線部 a のような考え方を何原則というか。漢字4文字で答えよ。

問4 下線部 b のような考え方を何原理というか。漢字2文字で答えよ。

問5 下線部 c の具体例を挙げよ。

## 第2問 次の文章を読み、以下の問に答えよ。

私たちの社会には、様々なルールがある。校則などの規則や法律はもちろん、明確に文章では定められていないルールやマナーもある。広く社会的に共有されている慣習や、特定の国や宗教で求められる道徳もある。これらは全て、広く社会規範と捉えることができる。社会規範とは、そのコミュニティの中で社会生活を営む上で守ることが求められるルールである。その中でも、a 刑罰をもって強制されるのが法である。

法を分類する視点には、様々なものがある。まず、人間の自然的理性によって構成されている自然法と、人間の行為によって作りだされた実定法に分けられる。実定法は、慣習が明確化された慣習法と、明文化されている制定法に区別される。日本では制定法が中心である。また、公法と私法の区別も重要である。公法は、国家の仕組みや国と個人の関係について定めた法である。一方、私法とは、私人どうしの権利や義務の関係について定めた法である。また、個人の平等や公共的な利益の達成を目的とした法を社会法と呼ぶ。

近年は、裁判に市民が参加する制度もいくつか作られている。裁判に国民の良識を反映させるべきであるとの考えから導入された b 裁判員制度や、犯罪被害者やその遺族が刑事裁判で被告人に質問できる被害者参加制度が挙げられる。

法律は時代を超えて常に一定のものではなく、社会状況の変化に伴って改定されることもある。例えば近年では、公職選挙法の改正によって選挙権年齢が18歳に引き下げられた、民法改正に伴って c 成年年齢が18歳に引き下げられた、などの変化があった。

問1 以下の法律の中から、公法と社会法に該当するものをそれぞれ**3つ**選び、その記号を答えよ。

- |          |          |           |
|----------|----------|-----------|
| ア. 民法    | イ. 刑法    | ウ. 労働基準法  |
| エ. 商法    | オ. 地方自治法 | カ. 独占禁止法  |
| キ. 手形法   | ク. 会社法   | ケ. 国家公務員法 |
| コ. 生活保護法 | サ. 借地借家法 | シ. 破産法    |

問2 下線部 a の「刑罰をもって強制される」法の代表が刑法である。刑法には政府が意のままに刑罰を科すことを防ぐために、法律にない刑罰は科されることはないという原則がある。この原則を何主義というか、答えよ。

問3 下線部 b の「裁判員制度」について、以下の文から正しいものを**3つ**選び、その番号を答えよ。

1. 裁判員制度の対象は、有罪であれば死刑や無期懲役刑が科される重大事件である。
2. 裁判員は20歳以上の有権者から抽選で選ばれる。
3. 有罪か無罪かの決定は、裁判官を交えずに裁判員の合議で行う。
4. 裁判員の候補になっても、一定の理由があれば断ることができる。
5. 控訴審でも裁判員制度の対象となることがある。
6. 裁判員制度を用いた裁判は非公開で行われる。
7. 民事裁判でも、裁判員制度の対象となることがある。
8. 裁判員の人数は、1事件について原則6名である。

問4 下線部 c について、18歳で成年となったら可能になることを**2つ**挙げよ。

### 第3問 次の文章を読み、以下の問に答えよ。

我が国の雇用形態においては1980年代までは a 定年として定められた年齢まで同じ会社で勤務する制度や、個人の能力よりも b 年齢や勤務年数を基準にして昇給や昇進を決める制度が一般的であった。しかし1990年代以降、日本経済が停滞する中でいわゆる正社員として勤務する労働者が減少し、 c 代わって契約期間が定められた労働者が増加する傾向となった。

この変化によって労働者の働き方の幅が広がったとも言えるが、正社員に比べて契約期間が定められている労働者は d 雇用や収入が不安定になるという問題が指摘されている。

働き方が大きく変化していく中で、働きやすい環境を整えることが急務となっている。過大な労働時間による過労死などの問題を防ぐため、 e 従来の労働時間と賃金の関係を見直す制度の導入などを通じて、 f 仕事と家庭生活を調和させて両方を充実させる考え方が注目されている。

いずれにせよ、 g 労働者の権利を守りながら、経済の発展と安定を図ることが社会の持続的発展のためには重要である。

問1 下線部 a の制度を何制というか。漢字4文字で答えよ。

問2 下線部 b の制度を何型というか。漢字4文字で答えよ。

問3 下線部 c のように労働者を雇用することを何というか。正しい用語を以下のア～エから1つ選び、その記号を答えよ。

- |          |          |
|----------|----------|
| ア. 個人事業主 | イ. 非正規雇用 |
| ウ. 違法就労  | エ. 出稼ぎ労働 |

問4 下線部 d について、なぜ雇用や収入が不安定になるのか、説明せよ。

問5 下線部 e について、該当する制度の名称を1つ答えよ。

問6 下線部 f について、このような考え方の名称を答えよ。

問7 下線部 g について、以下の説明に該当する法律の名称を答えよ。

A 労働時間や賃金など雇用者が遵守すべき労働条件を定めた法律

B 団結権、団体交渉権、団体行動権を具体的に保障する法律

C 労働者と雇用者の争いを予防し、解決を図る方法を定めた法律

**第4問** 次の文章を読み、文中の空欄（ 1 ）～（ 6 ）にあてはまる適切な語句を、それぞれ以下の語群から選び、その記号を答えよ。

類似の機能を持つ複数の商品があるとき、消費者はより価格の低い商品を購入する傾向がある。したがって類似の機能を持つ商品を供給する企業が多ければ多いほど、企業間の（ 1 ）によって価格が下がっていく可能性が高い。

しかしその機能を持つ商品が1種類しかなく、消費者がその商品しか購入することができない場合、価格が高くてもその商品を購入するしかなくなる。その商品を供給する企業が1社しか無い場合を（ 2 ）といい、少数しか無い場合を（ 3 ）という。

市場が（ 3 ）状態にある場合、価格競争による商品価格の引き下げで利益を減らすより、企業同士が相談して販売価格を取り決めたり、商品の供給量を抑制したりすることによって消費者が不利益を被る場合がある。このような企業間の取り決めのことを（ 4 ）といい、日本では（ 5 ）に基づいて禁止されており、市場において（ 2 ）や（ 3 ）が起きていないかを（ 6 ）が監視を行っている。

- ア. カルテル      イ. 寡占      ウ. 独占      エ. 公正取引委員会  
オ. 独占禁止法      カ. 競争